

地域創生をめざし市民懇談会



▲第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略市民懇談会

市の人口減少問題への対策などについて話し合う「まち・ひと・しごと創生総合戦略市民懇談会」が12月25日、市役所で開かれ、住民代表や観光・商工団体の代表、教育関係者など約30人が出席しました。平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が施行されました。同法では人口減少と地域経済縮小を克服するため「東京一極集中の是正」と「若者世代の就労・結婚・子育ての希望を実現」「地域の特性に即した地域課題の解決」に取り組み、地域創生と好循環の確立をめざすこととしています。そのため、都道府県と市町村は今年度中にそれぞれ今後5年間の戦略をまとめた「まち・ひと・し

ごと創生総合戦略」の策定が求められています。

この日は、はじめに市の人口の現状と将来展望について「平成25年3月に国立社会保障・人口問題研究所が推計した本市の人口は2060年に約2万3800人まで減少。また高齢化率が4割を越えると推計している」と説明がありました。続けて人口減少に歯止めをかけ、2060年に推計人口より多い、3万1000人をめざすための「南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子案)」が提案され、「地域ぐるみで支え合い、笑顔がたえないまち」「働く場を得て、ずっと住み続けたいまち」「魅力と味力があるふるさとのまち(ふるさと)」「子育てしやすいまち」の4つの基本目標について説明されました。

その後、出席者から意見や質問が出され、市の将来展望について議論が交わされました。市では今回の懇談会の意見を踏まえた戦略(案)をまとめ、再度懇談会を開催した後、市ホームページで意見募集を行います、最終的な総合戦略をまとめます。

吉備国際大学からのお知らせ

◆第3回地(知)の拠点シンポジウム

「地(知)の拠点整備事業」の成果発表として、南あわじ志知キャンパスからは3件の成果発表をいたします。また、本学の岡山県にある高梁キャンパスからも成果発表を行います。

- ① 学生たちの獣害防止とジビエ食品開発
- ② ナルトオレンジの生産状況の実態からみた六次産業化の可能性と課題
- ③ 地域の廃棄物を、地域で有効利用するーキノコ廃菌床を用いた、地域特産農産物の病害防除ー

▽日時 2月19日(金) 午後1時～
▽会場 南あわじ志知キャンパスC棟3階大講義室
▽参加 無料

◆【出張】地域創成生涯学習講座くなるほどなつく法律入門講座
生涯学習講座をキャンパス外の会場で実施する今回は、「相続と遺言に関する法律も負債もリストを作ろう、相続税の見直し点は？」

②隣地

賞品総額125万円！
お楽しみビッグチャンスプレゼント公開抽選会
昨年春に発売した「きばって



▲美菜恋来屋で行われた公開抽選会

優良農家表彰

園芸施設共済加入者のうち、経営規模が平均以上で事故率が低く、経営状態が極めて優良な農家であるとして、兵庫県農業共済組合連合会長より表彰されました。

- 菊川 武さん(榎列)
- 北条 憲造さん(八木)
- 山中 一男さん(灘)



いこう！南あわじ市商品券」の「お楽しみビッグチャンスプレゼント」の当選者を決める公開抽選会を1月17日、美菜恋来屋で開催しました。応募総数1万412枚のハガキの中から会場に訪れた75人の抽選者等が、抽選箱からハガキを引いて当選者を決定しました。当選者には賞品総額125万円相当の「夢来券」が贈られます。

※当選者へは発送をもって代えさせて頂きます。(詳細は市のホームページをご覧ください)

ふるさと南あわじ応援寄附金

寄附状況の公表 (1月20日現在)

区分	件数	金額
南あわじ市内	554件	68,161,749円
市外(島内)	105件	16,181,000円
市外(島外)	9,687件	483,541,892円
合計	10,346件	567,884,641円

詳細は市のホームページに掲載しています

ふれあい市長室

南あわじ市 シティプロモーション元年

「あわじ国」テレビニュースやインターネット検索サイトなどでも話題として取り上げていただきました。本年を南あわじ市シティプロモーション元年と位置づけ、インターネットをはじめとするメディアを活用し、南あわじ市出身の上沼恵美子さんのお力添えをいただきながら、強力にシティプロモーションを進めてまいります。また、兵庫県の尽力によって、引き続き、桂文枝さんに淡路島名誉大使をお引き受けいただけることに

なりました。今年も、淡路島、南あわじ市の素晴らしさを伝えていただくとともに、各メディアでのPR活動を通じて花みどりフェアの効果が一過性にならぬように努めてまいります。

さて、南あわじ市では1月10日、462名の新成人を迎えて成人式が開催されました。今年も新成人の代表で組織される成人式実行委員会が企画、当日の進行など全てを運営され、実に素晴らしい式典となりました。今年のテーマである「輪」という言葉の意味は、「人のつながり」や「心の輪」などの言葉に象徴されると思いますが、「和やか」や「平和」に象徴される「和」という言葉にもつながると私は考えております。20歳を節目に責任ある大人としてスタートされる新成人の皆さんの未来が、様々な「輪」のなかで「和やか」に素晴らしいものになるよう祈念して、また、一歩一歩着実にそれぞれの目標に向かって前進、進化されるようお願いを込めて、お祝いの言葉を述べさせていただきます。



▲新成人に目録を贈る中田市長

いただきました。平成7年1月17日の阪神・淡路大震災から21年が経過し、記憶の風化が心配されております。一方、南海トラフ巨大地震の発生が危惧される現状を考えますと、油断なく「常に備える」必要があります。本年11月には、南あわじ市をメイン会場として兵庫県の地震津波住民一斉避難訓練等の大規模な合同防災訓練が実施されます。引き続き国・県と連携協力をしながら、防災・減災対策を推進してまいります。

今後、南あわじ市の防災減災をはじめとする様々な施策への市民の皆さんのご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



▲広報紙24頁にシティプロモーションの目的等を掲載

42・4708